

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年1月14日（金）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1整備工事の状況

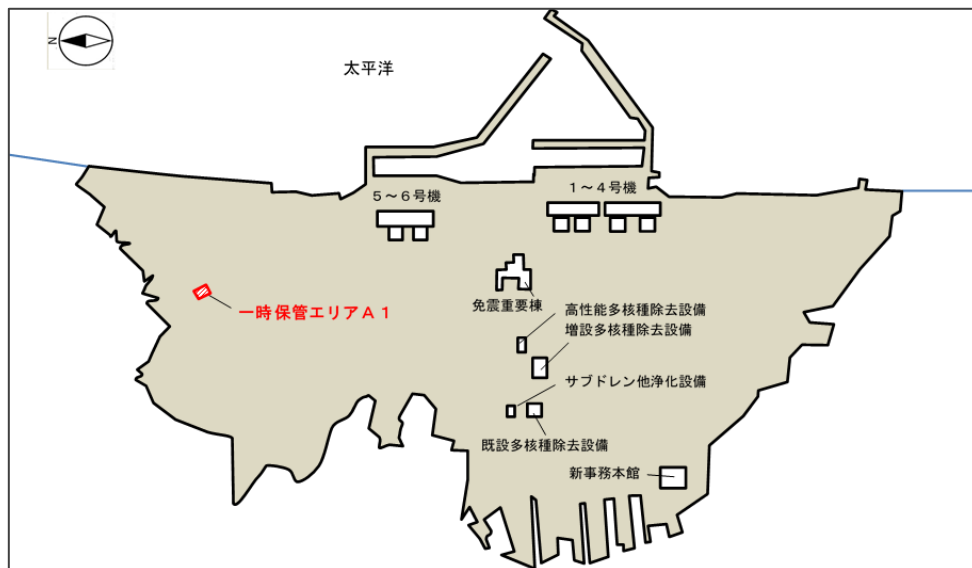
4 確認結果の概要

東日本大震災以降、30mSv/h以下の瓦礫類を一時保管するためのエリアとして運用されていた瓦礫類一時保管エリアA1（以下「一時保管エリアA1」という。）は低線量率の瓦礫類を保管するためのエリアへの転用が予定されている。同エリアの転用に向けた作業が進められていることから、前回（[令和3年9月3日](#)）に引き続き作業の進捗状況を確認した。（図1）

- ・前回確認時、テントは解体され、土壌が整地されていたが、今回現場を確認したところ、アスファルト舗装されており、囲うようにコンクリート製の擁壁が設置されていた。隣接する擁壁同士は金具で固定されていた。

（写真1）

- ・テント解体作業時に使用されていた周辺のプレハブ小屋や仮設テント等の資機材が撤去されていた。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



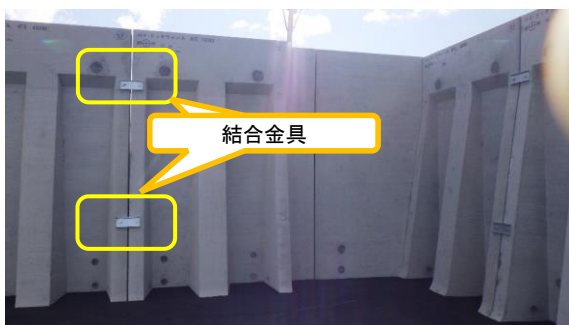
(写真1-1)
一時保管エリアA1の状況
(前回撮影：令和3年9月3日)



(写真1-2)
同左
(今回撮影)



(写真1-3)
擁壁の内側の様子



(写真1-4)
擁壁同士の結合部



(写真 2-1)
エリア南側に設置されていた
プレハブ小屋
(前回撮影：令和3年9月3日)



(写真 2-2)
プレハブ小屋が撤去された様子
(今回撮影)



(写真 2-3)
エリア北側に設置されていた
仮設テント
(前回撮影：令和3年9月3日)



(写真 2-4)
仮設テントが撤去された様子
(今回撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。